



「世界農業遺産の里 国東号」の運航スケジュールは、ソラシドエアのホームページで3日分ごとに公開しています。

特集 空から陸から 始動! 国東の新観光戦略



空から

ソラシドエア 「世界農業遺産の里 国東号」就航

ソラシドエア(スカイネットアジア航空(株))の地域振興事業「空恋プロジェクト」に、県内で初めて取り組んだ「世界農業遺産の里 国東号」が運航を開始しました。国東号は1年間、ソラシドエアの8路線を運航し、空から国東市をアピールします。

12月3日に大分空港で就航記念セレモニーが行われ、三河市長が「国東市を全国にアピールする絶好のチャンスです。たくさんの方に国東市に来ていただけることを期待しています」とあいさつ。



清國仁士市議会議長、ソラシドエアの高橋洋社長らがテープカットをして就航を祝いました。



▶客室乗務員のエプロンも「さ吉くん」パージョインです



▲国東号の搭乗客に国東市の観光パンフレットや記念品を配布

市職員で結成 チームソラシド

「空恋プロジェクト」への取り組みは、国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定された直後の6月初旬から始まりました。市役所職員で結成したチームソラシドのメンバーを中心に、航空会社や大分空港との協議を重ね、就航の準備や観光情報を掲載した機内誌の製作を進めてきました。今後も季節ごとの機内誌発行やソラシドエアとの共同イベントを企画し、観光客増加を目指します。



▲機内では、国東市のオリジナル機内誌やヘッドレストカバーをセット

国東号のデザインを手がけた 中野伸哉氏

国東市のマスコットキャラクター「さ吉くん」と国東半島の生物多様性と循環をイメージしたというイラストレーターの中野さん(国見町ラ・パロマ経営)。羽田空港で11月27日深夜に行われた貼付作業に立ち会い、「国東号とさ吉くんが全国の空で国東市をアピールしてくれるでしょう。感無量です」と喜びを語りました。



▶東京タワーで開催された「おんせんおおいいた地獄蒸し祭り」でも、国東号をアピール(12月14・15日)